



感染症週報

(三宅管内感染症発生動向調査報告)



令和 7(2025)年 第 26 週 (6/23 ~ 6/29)

三宅島 新型コロナウイルス感染症(COVID-19): 1件

御蔵島 感染症の報告はありません

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)



東京都の注目される定点把握対象疾患 << 東京都感染症週報 第25週 >>

- ・前週に注意報基準を超えた水痘の定点当たり報告数は、0.67で(前週1.09)より減少しました。直近の状況を考慮し、引き続き今後の動向に注意が必要です。



島しょの情報 (11島の医療機関からの報告) << 第26週 (6/23~6/29) >>

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の医療機関あたりの報告数は、0.18 で前週(0.27)より減少しています。
- ・感染性胃腸炎の医療機関あたりの報告数は、0.18 で前週(0.18)から横ばいです。
- ・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、1.64 で前週(0.82)より増加しています。

NEWS 百日咳の流行が続いています

全国における百日咳の今年の累計報告数が 3 万人を超え(31,966人)、現在の全数報告になった2018年以降最多を記録し、2024年の報告数4,093人の約8倍にのぼります。6/9~6/15の集計速報値で報告者数が多い都道府県は、東京都 189 人、埼玉 172 人、茨城 146 人、千葉 125 人、新潟 112 人、福岡 111 人です(国立健康危機管理研究機構)。

東京都の今年の累計報告数は2,254人で、そのうち10代以下が全体の77%を占めています。1/1~6/22の累計報告数が多い保健所は、世田谷 201 人、板橋 157 人、多摩小平 154 人、町田 138 人、南多摩 135 人となっています(東京都感染症情報センター)。

注意点として、予防接種前の新生児は重症化しやすく、主に家族が感染源となります。熱がなくてもせきが長引く場合は、早めに受診しましょう。感染拡大を防ぐためには、ワクチン接種や咳エチケットの徹底、早期の医療機関受診など、基本的な感染対策が大切です。



百日咳の流行状況(東京都 2025 年 6/26)
(東京都感染症情報センター)

(編集・発行) 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>



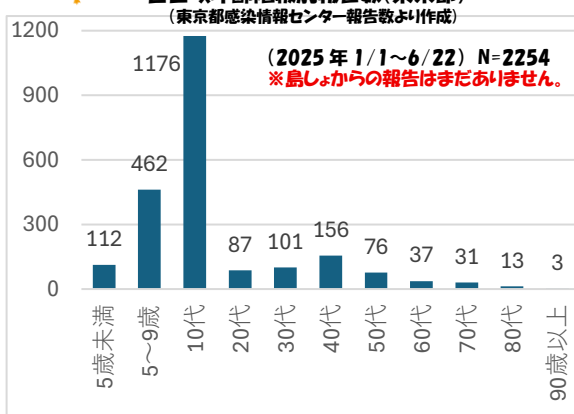
百日咳の報告数の推移(東京都)

東京都感染症情報センター



百日咳年齢階級別報告数(東京都)

(東京都感染症情報センター報告数より作成)



島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和7(2025)年

第 26 週

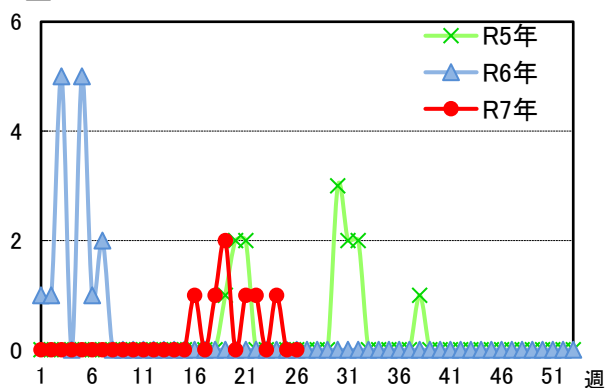
令和7年 6/23 ~ 6/29

疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和7(2025)年						令和7 (2025)年 累計	東京都 定点あたり 25 週
	21 週	22 週	23 週	24 週	25 週	26 週		
RSウイルス感染症							0 (0)	0.11
咽頭結膜熱							0 (0)	0.54
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							0 (0)	4.02
感染性胃腸炎	1 (0)	1 (1)		1 (0)			7 (2)	6.39
水 痘							0 (0)	1.09
手 足 口 病							0 (0)	0.19
伝染性紅斑							0 (0)	0.73
突発性発しん							0 (0)	0.41
ヘルパンギーナ							0 (0)	0.08
流行性耳下腺炎							0 (0)	0.11
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.03
不明発しん症							0 (0)	0.07
インフルエンザ		1 (0)					58 (3)	0.23
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)			3 (0)	3 (0)	4 (0)	1 (0)	30 (5)	0.82

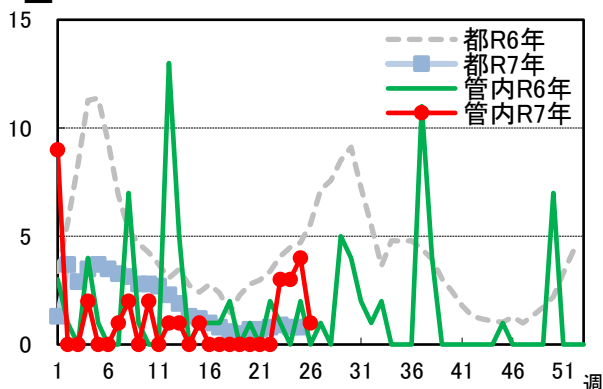
※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ 管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ 感染性胃腸炎



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

三宅管内の感染症状況は、新型コロナウイルス感染症の発生が続けて報告されています。
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。